しおさいのエントランスの庇が広くなりました！

玄関前にあった大きな楠木は7月にお祓い後に伐採され、エントランス庇（ひさし）拡張工事が始まり、9月に広く明るい屋根が完成しました。
写真のように送迎車「しおさい号」が5台収まる広さになりました。
以前は「雨かっぱを着て利用者様に傘を差しながら車いすを押す」ということがありました。この庇の拡張により、利用者様を濡らさず、介助者も濡れずに送迎車への乗降ができるようになり、もちろん利用者のご家族の荷物の搬入・搬出の際もご利用できます。

この庇は天井の明り取りのおかげで、照明要らずです。柱や梁などは溶融亜鉛めっき（俗称「どぶ漬け」と呼ばれるメッキ塗装）の為、錆びに強く、塗装が要りません。丸柱が2本舗装面に出ていますが、柱には緑色の安全マットを巻いており、反射テープ付なので夜間も安心です。
ちょっとぶつかっても傷や凹みができません。